

アジアにおける 日本語教育

— 様々な資源を活用した取り組み —

2025年

11月22日(土)

13:30~16:50(日本時間)

QRコードより事前にお申し込みください。

会場で参加

和歌山大学 西1号館1階会議室



定員
10名

オンライン
Zoom
webinar

定員
500名



参加無料

本シンポジウムでは、各協定大学の日本語教育の取り組みを共有します。また、「様々な資源を活用した取り組み」に着目し、国内の留学生、あるいは、海外で日本語を学ぶ

学生が、日本語、日本文化、日本社会の理解のため、どのような学内外の資源を活用しながら教育実践しているのか、その意義についても議論したいと思います。

基調講演

さまざまな資源を活用した
教育実践と学びあい

近藤 彩

昭和女子大学
人間文化学部日本語日文学科 教授



政策研究大学院大学政策研究科 助教授・准教授、麗澤大学院 言語教育研究科研究科長・外国語学部・国際学部教授を経て現職(昭和女子大学大学院文学研究科長、人間文化学部教授、日本語教育センター長)。博士(人文科学)。その他、文化庁国語課第23期文化審議会臨時委員、国語分科会日本語教育小委員会委員等を歴任。現在、ビジネス日本語研究会の代表幹事、協働実践研究会幹事。
NHK Worldの“Easy Japanese for Work”(しごとのにほんご)制作に携わり、Webコンテンツを公開している。放送中、オンデマンドあり。

総括

安本 博司

和歌山大学 日本学教育研究センター センター長



2010年より韓国新羅大学で教鞭をとった後、2012年より日本の大学で留学生に対する日本語関連科目、日本人学生に対する日本語関連科目、人権問題論などの科目を担当。2022年和歌山大学日本学教育研究センター准教授、同センター副センター長を経て現職。博士(人間科学)。主な著書として、『テーマ別中級から学ぶ日本語ワークブック(三訂版)』(2015)、『テーマ別上級で学ぶ日本語ワークブック(三訂版)』(2017)、『コア系移住者の民族継承をめくって』(2019)などあり。

事例発表



インド
ティラク・マハラシュトラ大学
日本語学科 准教授
スワティ・バグワット



キルギス ビシュケク国立大学
名誉教授
伊藤 広宣



台湾 国立屏東大学
応用日本語学科長・准教授
簡 中昊



韓国 釜山大学
日語日文学科学科長・准教授
河 在必



和歌山大学
日本学教育研究センター
特任助教
嶋本 圭子